

2019 バラモンキング レースまで

6/21（金曜日）

諫早で乗り合わせて長崎の大波止へ。

大波止ターミナルには既に沢山のバイクが並んでいた。

乗船券を求めバイクを預け客室へ。

寝過ぎないようにぼーっと五島まで。航海は穏やかだった。

五島到着。早速『うま亭』で『エビフライ定食』。

プリプリのエビフライが美味しい。

今年の宿は『TSUBAKI HOTEL』。新築の出来たてほやほや。

1時からの受付に合わせて五島市文化会館へ。

受付前に『IWA』の村山さんにメンテをお願いする。

トラブル発生。

リアのディレラーの中にあるバネが弱ってて変則スピードに影響が出ている。

との事だがこのバイクしか知らないので状況がよくわからない。

優しくシフトする事で対処する。

受付してランコースへサイクリング。

気温も湿度も気持ちいい。最高のサイクリング日和。

折返し地点で記念撮影し福江まで。

5時より開会式・競技説明会。

競技説明会は今年もギスギスした感じ。

かたや『フィニッシュの同伴は認めない。』

かたや『フィニッシュは選手各々が楽しんでください。』

コメントが違うが、勿論私は後者を選ぶ。

夜は焼肉。流石の五島牛が美味しい。

就寝。が、ベッドが合わないのか腰が痛くて寝れない。

うとうとしたままだった。

6/22（土曜日）

朝食バイキング。メニューも豊富で美味しかった。

外は晴れているが風が吹き始めていた。

バイクを預けている武道場へ。

11時からスイムスタート地点までサイクリング。

朝より風が強くなっている。高速のくだりで何度かフラれる。

1時からの車検・ヘルメット検査を受けバイクラックへセットする。

スイムコースは凪だった。

帰りはバス。結構高かった。

晩御飯は寿司。まあまあの味。

ホテルへ戻り最終準備。

ボトルに『粉飴』『オレンジジュース』を混ぜ合わせる。

『粉飴』を溶けるだけ混ぜる。ボトル2本に『粉飴』300グラム。

準備完了し就寝。やっぱり寝れない。

一度寝付いたが物音で目覚め、後はうとうと。

外は風が強まっていた。

2019 バラモンキング レース

6/23（日曜日）

3時起床。

ホテルで用意して頂いた弁当をいただく。

かなり厳しいメニューで、ほとんど食べれず。

4時半、大会シャトルバスで富江へ向かう。

薄暗い中、会場到着。

計測用アンクルバンドを受け取りバイクラックへ。

カバーを外し補給食を積み込む。

『エネ餅』『ピットインゼリー』。

タイヤにエアを入れてセット完了。

試泳までの時間で補給食を食べれるだけ食べる。

準備万端。

7時レーススタート。

初参加の浜田さんと樋口さんと一緒にスタートの合図を聞いた。

一緒に行くつもりだった。が、あっという間にチリジリに。

完全にスタート場所を間違えた。

右側の第1ブイに向かってまっすぐ進むラインを選択。

スタートの瞬間は周りにスペースを確保できていたのだが

あっという間に芋洗状態。みんながスペースを狙っていたみたいだ。

第1ブイを目指すがなかなか混乱の中で進まない。

浜田さん、樋口さんの姿も時折見かけるが自分のことで精一杯。

第1ブイを過ぎても混乱状態は解消しない。

このバトルで不規則なタイミングでの息継しかできず沢山の海水を飲む羽目に。

我慢の時間が続きペースも全く上がらない。

第2ブイを回るところからやっとスペースができ始めた。

だがこの辺りから海がうねり出した。

分厚いうねりで上げ下げに合わせないと進まない。

潮は右向きに流れているのでヘッドアップで確認しないとブイの右側を通る事になる。

やっとの思いで第3・4ブイ通過。

今度は息継の度に朝日が眩しい。

第4から第5ブイへは直線的に泳ぐ。この区間は泳ぎやすかった。

スイム1周目終了。42分くらい。

去年より4分遅いが感覚的には悪くなかった。

折返を回ろうとするとBタイプの試泳に向かう花菜ちゃんと今村さんに遭遇。

緊張の面持ちで二人とも少し引きつった表情だった。

2周目に向かうが海はますますウネリが出てきていた。

ヘッドアップしても見えるのは盛り上がった海面と空のみ。

なかなか進まないがスペースがあるので慌てずウネりに合わせて泳ぐ。

第2～第3ブイ間（540メートル）は昨年より100ストロークほど多かった。

首回りもウェットスーツに擦れて少し痛かった。

が、ウネリの中でも恐怖感はなく泳ぐのは楽しかった。

記録 1:28:19

バイクスタート。

今年はウェットスーツの下にトライウェアを着込んでいたため

スムーズにトランジッションできた。

ゼッケン・ヘルメット・シューズを支度しバイクへ向かった。

バイクスタートから少し強めの風を感じた。

最初のエイドまでに 500cc の粉飴を溶かしたボトルを飲みきるつもりだったが

段差で跳ねたときにサドルにつけていたボトルゲージがお辞儀してしまい

地面とほぼ水平になってしまっていた。

減速して取り、がぶ飲みしてゲージに戻そうとするがうまく入らない。

集中できないまま 20km 地点の最初のエイドで下車しボトルを飲み干し

曲がったボトルゲージを締め直し、よく冷えた水ボトルをもらう。

気持ち切り替え再スタート。

ジェットコースターを超え二本楠を目指す。

が、全く上れない。上りでペースを上げれない。

平坦部分ではそれなりの走りができていたが上りで抜かれまくった。

色々悩んでも仕方ないので下りと平坦を頑張る。

二本楠を過ぎて緩斜面の曲がりくねった区間であわや転倒寸前。

前走者をコーナーの立ち上がりで抜こうとラインを変えて行くと

青いジュータンで四角く養生された箇所があった。

大丈夫だろうと思ってジュータンの上を走ったが実際は大きな段差になっていた。

『バーン。』かなりの衝撃を受けフラれてラインを乱し暫しパニック。

ビビった。

しばらくバイクの様子を観ながら走り無事を確認してペースを戻す。

すると知人と遭遇。挨拶を交わし区間区間で前後しながら進む。

知人と、この後 100km 程バトル。上りで抜かれ平地で抜き返す、を繰り返した。

バイクコースは風が吹き荒れていた。

向かい風区間のトンネルが気持ち折れそうなくらい進まない。

集中を切らすとあっという間に失速する。

下りコーナーが苦手なので慎重に下っていると勢いよく抜かれた。

ヒヤヒヤしながら見送るが案の定オーバーランして選手が道に転がっていた。

ボランティアの学生が駆けつけ様子を観ていたが選手は苦痛に身をよじらせていた。

嫌なシーンを見たが安全を心がけ淡々と距離をこなす。

補給は粉飴オレンジジュースがメイン。

結局食べたのはピットインゼリー・エネ餅を一個ずつ。

力が出なかったのはこの少ない補給のせいだったのか分からないが

空腹感やエネルギー切れは感じなかった。

二本楠を左折し 144km 地点通過。風はきついまま。

なんとペダルが軽くなる。一気にスピードをあげる。

が、ほんの一瞬だった。最後の力を使ってしまった。

自動車学校先の上りから中央公園折返区間の強い向かい風で完全にタレた。

中央公園からの下りを過ぎて福江に向かう直線で横風に煽られバランスを取ろうとしたら

お尻が攣った。あまりの痛さに悶えながら走る。

もう何も残ってない。

が、周りも同じみたいで抜けず抜かれずのままバイクフィニシュ。

なんとか帰ってきた。

強風に全く太刀打ちできなかった。

記録 6:49:00

ランスタート。
テントを出てランスタートのゲートをくぐリエイドで補給。
オレンジが美味い。そしてコーラ。一息ついて走り出す。
身体がランへと切り替わるまでしばらくトボトボ走る。
福江中学校辺りから少しずつ動き出すが上りは厳しい。
アキレス腱の柔軟性が不足しているため上りは全て歩き。
4km 地点からは奥浦郵便局辺りまでは平坦区間なのでしっかり走る。
仮設トイレで用を足すがウェアのももの部分を強引に引っ張って出すが
残尿感全開。その後、しばらくタラタラ尿もれしながら走る。
次のエイドでしっかり水かけてもらいました。
日差しは強いが、往路は向かい風で風が涼しい。
が、復路は追い風で体温が一気に上昇。エイドで濡らしたウェアもすぐに乾いてしまう。
沿道の声援に『真っ白。』の言葉を聞く。
自分のことじゃないと思っていたが気になって身体を見回すと膝から下が真っ白だった。
噴き出した塩で本当に真っ白だった。間も無く右足首に強い痛みがで始めた。
『やばい攣る。』
エイドまで歩き塩スティックをいただき水で流し込んだ。効果テキメン。攣りは治った。
次と次のエイドでも塩スティックをいただき攣り対策完了。
暫し走ると歩く知人に遭遇。
『だいじょうぶですか？。』『もう走る気力の湧かん。』
暫し寄り添って歩くがその最中段差に蹴つまずき左足がグネツた。
コケそうになったが平静を装い知人とは離れ走り出した。

何とか 2 周目に入る。
気温はまだまだ高く往路の向かい風は涼しさよりもキツさを感じていた。
ペースは落ちているが走る距離は伸び始めていた。足さえ出せばゴールへ近く。
今回は珍しく時計をしていた。
キロのペースを測るためでなく時刻を知るためにしていた。
が、人間疲れると思考能力が落ちる（私だけか？。）。
折返しの関門時間を 8 時って誰かから聞いて計算すると全く間に合わない。
折返し残り 3km くらいの地点で時計は 18:00 を指していた。
仕方がない関門まで頑張るか？。トボトボ進む。
でも周りに沢山の選手がいる。みんな真剣に走っている。
ひょっとしたら関門時間の聞き違いかなと思ってフィニッシュ時間を思い出した。
10 時だよなあ。ということは 20:00 だから 2 時間ないからやっぱり無理だ。
悔しいなあなんて思いながら進んでいた。折返し地点で 18:20 くらい。
するとエイドから『あと 3 時間半あるけん大丈夫よ。』って。
意味不明。
よ〜く考えると 10 時って 22:00 何だなと気づいた。
気持ちを切り替えしっかり走る。
バイクで攣った右お尻の影響か右足全体の動きが悪くなっていく。
カバーする左足はグネツたからか『グチャっ、グチャって。』感じで地味に痛い。
でもガマン。
暗くなり涼しくなり走りやすくなっていくが気づくと足がまた真っ白になっていた。
すかさずエイドで塩スティックを繰り返す。もちろん『あご出汁スープ』も。
すると去年の例の区間に差し掛かると例のもよおしが始まった。
何と去年と全く同じ場所で同じになるとは。
最後は痛みも忘れスイムのウネリの事だったりバイクの強風の事だったり
打ち上げのビールのことを考えながらゴールエリアへ。

記録 5:25:05
総合 13:42:24

明るく照らし出されたゴールエリアに戻ってこれた。
レッドカーペットを走ることができた。
厳しい気象条件だと力不足を感じさせられた今年のバラモンキング。
次はもっと戦えるように仕上げてきます。
温かく見守ってくれた家族。一緒に練習してくれたチームメイト。
そして五島の皆さんありがとうございました。

また来年もよろしくお願いします。